

## 世界防災フォーラム 2025 にて Web-GIS の学校での利活用セッションを実施しました (2025/3/8)

テーマ：学校防災の拡充に向けた Web GIS の利活用 ～日本・台湾での取組～  
会場：仙台国際センター（仙台市）会議棟 2 階 大会議室「橘」

2025 年 3 月 7 日（金）～9 日（日）、仙台国際センターにて開催された世界防災フォーラム 2025 において、当研究所防災教育協働センターは、企画セッション「学校防災の拡充に向けた Web GIS の利活用～日本・台湾での取組～」を開催しました。

日本では、公的機関において、重ねるハザードマップ、地理院地図、キキクルなどのオンラインで災害リスク情報を表示できる電子地図（Web-GIS）を活用した防災の重要性が認識されつつあります。なかでも、災害時要配慮者利用施設である学校では、自然災害発生リスクが高まる中、緊急避難の判断を行う際にリアルタイムの気象・防災情報の活用は一つの有効な方策です。しかし、緊迫する状況で刻々と変わる情報をどう活用できるかについては多くの課題があります。

本セッションでは、類似の自然災害リスクを抱える台湾において、学校安全に特化した Web GIS のシステムを開発・運用している台湾教育部情報およびデジタル教育司・管理師で国立成功大学の李佳昕氏をお招きして、同システムを導入した経緯や特徴、活用上の課題について講演頂きました。また地域防災を専門とする茨城大学の李勇昕特別研究員にも通訳・質疑応答でご登壇頂きました。

災害科学国際研究所から、防災教育実践学分野の佐藤健教授、桜井愛子クロスアポイントメント教授、小田隆史特任准教授（客員／東京大学）が日本での Web GIS を活用した学校向けの災害リスクコミュニケーションの取組を共有しました。総合討論では会場参加者を交えた活発な意見交換が行われ、Web GIS を活用した災害リスクコミュニケーション促進に資する有益な機会となりました。



セッション「学校防災の拡充に向けた Web GIS の利活用～日本・台湾での取組～」の様子

文責：佐藤 健（防災教育実践学分野）